

「鍼灸科夜間部 3 年生」座談会

鍼灸科夜間部って、どんなところ？どんな方々が学んでいる？

国家試験を終えて、あとは卒業を待つのみ。3 年間で 1 番ホッとしている時期であろう、

鍼灸科夜間部 3 年生有志による「座談会」を開催しました！！

最後には、入学や進学を検討中の方に向けてメッセージも！（座談会参加者の敬称は省略）

<懇談会にご協力いただいた 3 年生の皆さん>



▲ 伊藤 洋さん



▲ 西村 理恵子さん



▲ 平柳 亜希子さん

Q: 入学のきっかけを教えてください。

伊藤: フリーランスでプログラムの仕事をしていたが、何か勉強をしたいなと。以前から鍼灸の興味があったことを思い出したんです。家からも近かったですね。

平柳: 福祉やその他の仕事をしていたんですが、手に職をつけたくて。医療系の中で薬を飲まなくてもいい鍼灸に関心を持ちました。他校も見回って、実は入学まで決まっていたんですが、何か「腑に落ちなくて」。

学費が高めだったので、東鍼校はあきらめかけていたのですが、1 回見ておこうと。行ってみると東鍼校は、就職相談室があって、在校生や事務室の雰囲気も良かったんです。そして、「いい意味」で、ガツガツしてなくて自分に合っていたので、受験しました。ちょっと予算オーバー(笑)でしたが・・・

一生のことなので、悔いを残したくないなと。学費は無駄遣いをしなくなり(笑)、何とかなりました。

西村: 入学前からずっと自営(フリーランス)です。美術予備校の講師をしたり、大学の特殊メイク授業を数コマ受け持ったり、あとはアートセラピーですね。

司会: 西村さんは、芸術大学のご卒業でしたね！

西村: はい、そうです。そうしながらもカラダのことに興味があり、ここ 10 年くらい鍼灸学校への進学を考えていたんですが、だいたい入学の終わった 5 月くらいに考え出す状況でして(苦笑)。でも、たまたま 3 年前の 2 月に問い合わせをした時、まだ募集中だったのでタイミングが合いました。

○クラスメートはどんな方々でしたか。



西村: 皆さん、年齢も性格もいい意味で大人でした。

20 代も数名いたんですが、平均すると 40 代くらいだったような。若干女性が多かったですが、バランスが良かったですね。中には、柔道整復師、看護師さん、企業の社長さんも。

伊藤: 段ボールデザイナーもいましたよ。皆さん、サバサバして雰囲気良かったですね。実技授業もクラスメート同士交代で練習するので、入学前より元気になっていったような感じがします(笑)

○学科の勉強は大変でしたか？

伊藤：面白かったですよ。自分たちの年齢や体調に合った勉強が出来て、身につまされました。東洋医学はもちろん、病気やメンタルのことを勉強したり、自分の体調も変化する年齢になっていくので、前向きに学べました。

西村：学科カリキュラムが私達の入学年次から変わったので、上級生情報とは違って戸惑ったのも事実ですが、何とか日々こなしていった感じです。

平柳：クラス内で教えあったり、看護師さんから教わったり。今となってはいい思い出です。

○国家試験の勉強は大変でした？

西村：今年から問題数も増えたんです。問題数が増えた分、少し間違えても何とかなるかなと、変な開き直り感が出ました。先生方に何度も言われた「基礎が大事」と痛感しました。

平柳：前日のあんまマッサージ指圧師試験の傾向だと、何となくいけそうな難易度だったのですが、はり師・きゅう師は当日問題をみて「ん！」と(苦笑)。じょじょに落ち着いてきましたが。

伊藤：「北風と太陽」って言葉を思い出しました。でも自己採点上は大丈夫そうです。東鍼校は、国家試験前まで実技授業があるので、そのころは大変だったけど、卒業する今となっては実技で「手を動かして」良かったです。



○実技授業・臨床実習

伊藤：鍼灸科は、いろんな流派の先生方に指導いただくので、勉強になりました。

平柳：ベッドが昇降式で良かったです。ほかの学校では、全ベッド昇降式ではないと聞きました。身長が高い方もそうでない方もいるので、とても助かりました。臨床実習は自分の担当日だとすごくドキドキ(泣)

西村：クラスメートの治療を見ることが出来たのは、何かと気づくことがあって良かったですね。終わってみれば、いい経験でした。皆さん仕事後の登校で忙しいこともあり、普段は

授業だけの付き合いですが、次第に濃い話も出来て、楽しかったです。

伊藤：いろんな先生方がいて、学ぶことが多かった。流派やスペシャリストがいて、勉強になりました。

平柳：3年生での「パルス(通電法)」は当初興味がなかったのですが、実際に授業でやってみると勉強になったので、カリキュラムにあって良かったです。

○先生方

平柳：入学前や新入生歓迎会で聞いた、「50万回100万回練習して、それでもわからないことがある」はず一と頭に残っていました。そして、入学式での校長訓示「**3年間学校に来ていれば、国家試験何とかなります。何とかします**」も、心にとめていました。本当に何とかなりました。

伊藤：年下の先生には、何となく温かい目になってしまいました(笑)

○卒業後は？

西村：今の仕事を継続しながら、筑波大学の理療科卒後研修に通いながら、鍼灸の研鑽を行っていきます。

伊藤：プログラマーをしながら、友人知人に施術を行っていく予定です。

平柳：開業に向けて準備していきます。臨床実習最後の授業で宣言したので、HP制作やデザインなど、治療以外でクラスメートが手伝ってくれるかも・・と期待しています(笑)

○受験検討中の皆さんへメッセージ

伊藤: **3年前に戻っても、また東鍼校に入ります。**学費は気になるとは思いますが、教育内容を考えて学校選びをしてください。何かで迷っているのであれば、東鍼校の鍼灸科夜間部は同じような年代の方がいるので、一緒に頑張れますよ、きっと。

西村: 医療系資格をお持ちでない方にもお勧めします。「1」から学ぶことは今までの経験や人生も生きるかと思えます。迷っているのであれば、入学して考えてみませんか。

平柳: 勉強は苦しかったけど、**「こんなに頑張れるんだ！」**と自分の可能性を知ることが出来ました。入学しなければ、おそらく知り合えない方と出会えて良かったです。ご自身の更なる可能性と出会いのある学校を選ぶなら、東鍼校もお勧めです。